



やさしく  
ニャンハウ

こころの道

Nhan hieu Thong minh Khoe mạnh

かしこく  
トンミン

たくましく  
ホーエマイン



校長 佐藤之保

## 「選 択」

50,000 個・・・これは、私が昔に読んだ本に書いてあった、「人間が1日に考える思考の数」だそうです。著者は、思考を川面に流れる葉にたとえ、私たちはその川を眺めながら過ごしていて、ある葉を見つけ、拾い上げては、それを意識して思考していくという内容のものでした。

そしてこれと同じように、人間は日々「選択」をしながら生きています。朝どうやって起きようか？ベッドから右足から降りようか、左足から降りようか？何をどれだけ食べようか？歯はどの歯から磨こうか？・・・きりがありません。ただ、結果としては「選択」しているのですが、ベッドから右足から降りようか、左足から降りようか？どの歯から磨こうか？なんて意識して選択している人はほとんどいないと思います（そこを怪我した場合は別）。つまりこれは無意識の選択になります。いつも全ての選択を意識していたら、脳が疲れて生活にも支障をきたすことになりますから、これは人がより快適に生きるための大切な働きでもある、といえます。

ではそのまま無意識に流されていっていいのでしょうか？

この流される時間が長すぎると「自分で生きている実感」が乏しくなってきたり、人生という航路の舵を自分で取っている実感がわきにくくなります。これでは「幸せ感」を味わうのは難しくなります。

大切なのはバランスです。

自分で意識して選択する場面を決めていくことは一つの方法です。それがうまくいけば、自分の人生を創り上げることにつながり、自信へとつながっていきます。ですから、たとえ自分が思うような結果が得られなくても、「自分で選び、結果を理解して糧にしていく」という経験が大切です。これは「自分軸」を実感していくことにもなります。

意識し、選択してその結果を受け止め、また進んでいく。この繰り返しの中で、人は感動があったり、達成感があったり、他者の愛情を感じたり、悲しみがあったり、後悔があったり、いろいろな感情を「より深く」味わい、自分自身を高めて幸せを感じていく、人生はそうして成り立っていると思います。

私たち大人は、そんな子供たちの育ちを見守り、子供たちが恐れず、「自分で選び、結果を理解して糧にしていく」ことができるように、支援していくことが大切なのではないでしょうか。自分で選択するからこそ、「より深く」感情を味わうことができるのではないかと思います。

そのためには、子供たちが、まずは「選択」を意識し、その選択がどんな影響を周囲や自分に与え、どんな結果を作り出すか、を理解していくことから始める必要があります。子供たちには、より良い選択を求めて「自分自身」をしっかりと育ててほしいと願います。

### 授業参観週間について

本校では現在、授業参観週間を実施中です。連日多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございます。授業は、教員と子供たちが一緒に作り上げるものと、先日はお伝えしました。教員は1時間の授業計画を立てて授業をしますが、子供の反応によっては、その計画を常に変更していきます。教員と子供たちが、その時に授業の目的を目指して、道のりを修正しながら進んでいくイメージです。子供の発言が周囲の子供たちに影響し、また新たな発言を生んでいく。そんな授業を教員は目指しています。子供たちにより「深い学び」を経験してほしいと願います。